

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第15号
(令和4年 9月)
文責 西澤 庄藏



「伝える力」を意識した学校生活について訴えました。リモート集会を行いました。

9/1(木) 全校生徒・教職員が一堂に会することなく教室ごとに配信を視聴するリモート始業式を行い、今学期に懸ける思いを伝達しました。

前半は、1学期終業式式辞での夏休みを迎えるにあたってのお願い「目標を持って家庭生活を送る」「家の手伝いをする」について、8/9 平和宣言に込められた思いについて説きました。特に、後者の平和宣言から、身近な例えを引用して絶対にいじめや差別があってならないということを強く訴えました。一人一人が個人を尊重し、他人に対して「思い」を巡らせ、行動に移す「思いやり」の大切さも訴えました。

後半は、本論として、学校教育目標の「認め合い」「学び合い」「高め合い」に関係した「伝える力」をキーワードに思いを語りました。今学期は文化祭・合唱コンクール、修学旅行、職場体験学習など学校・学年行事が多いがゆえに「大舞台で堂々とした態度で表現してほしい」と率直な思いを伝えました。「言うは易く行うは難し」ですが、生徒全員が実践すれば当たり前前の活動になり、続ければ学校の良き伝統になります。あえて表現力と言わず、ふだん使いの「伝える力」と称したのは、行事の日だけではなく日常生活でも意識してほしいからです。自発的なあいさつなど、良き伝統を「今日ここから」つくり、生徒会年間スローガンとして掲げている「躍進」にもつなげたいと決意も伝えました。「認め合い」「学び合い」「高め合い」は相手と切磋琢磨してこそ成り立つ言葉で、今学期「伝える力」という言葉を胸に秘め、成長してほしいと締めくくりました。

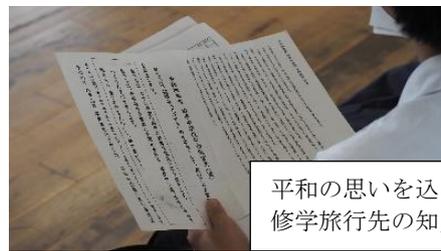
恒久平和を誓う厳粛なひとときでした。こちらもリモート集会を行いました。

8/9(火) 平和祈念集会を実施しました。これまでの平和学習の集大成として生徒発表を中心に構成されたリモート集会でした。予め学年ごとにテーマが設けられていました。1年生は原爆を中心テーマに各々の調べ学習の成果を発表しました。2年生は沖縄戦について朗読を交えて臨場感たっぷりに発表しました。3年生は国際平和について、あと、修学旅行の行き先の知覧特攻平和会館に関して神風特攻隊についても発表がありました。さらに、実行委員会から事前アンケート結果からの考察があり、私自身も語り継ぐことの難しさを考えさせられました。集会の最後は、田平中学校独自の平和宣言を決議し、締めくくりとしました。

【田平中学校平和宣言(抜粋)】

- 一、私たちは、77年前の戦争の悲惨な現実を語り継ぎます。
- 一、私たちは、長崎県外や世界にも関心を持ち、学校や学級、地域の平和をつくり出す努力をします。
- 一、私たちは、全ての命を大切にし、助け合います。

2学期も、このことが遵守できるよう、人権学習にも力を入れて取り組んでいく決意を新たにしました。総じて、戦争の悲惨さを知り、後生に伝えていくきっかけとなった有意義な時間でした。



平和の思いを込めて折られた千羽鶴が3年生に引き継がれ、修学旅行先の知覧特攻平和会館に献上されます。

【折々の出来事から】(夏休み後半から)

8/27(土) 宅島建設杯長崎県ジュニアユースサッカー選手権大会があり、本校サッカー部も出場しました。3年生最後の大会だったため、躍動する姿を観戦しました。試合は善戦したものの惜敗しました。選手、特に3年生の勇姿にしばし見入ったひとときでした。

この大会は、市予選なしで県大会出場だったこと、95チーム中31チームがクラブチームの参加だったこと、ほかにも、異なる中学校が合同チームとして参加したり、同じ中学校・クラブから2チーム参加したりと多様でした。「段階的な部活動の地域移行」が話題となっている昨今、その行く末を見た思いでした。



島原市の平成町多目的広場にて行われました。天然芝のピッチで有終の美を飾るにふさわしい舞台でした。